

集中豪雨

～早めに適切な行動を～

集中豪雨とは

短時間のうちに狭い地域に多量の雨が降ることで、その集中豪雨が最も発生しやすいのは梅雨の終わりごろです。狭い地域に限られ突然的に降るため、土砂崩れなどの土砂災害、中小河川の氾濫などの被害が予想されます。

6月から7月にかけての前線ができるやすい時期には、つとめて早く気象情報を知るようになります。大雨や洪水の注意報、警報が発表されたら集中豪雨を想定して、避難対策を考えましょう。

【水害時の避難の注意点】
・ヘルメットなどで頭を保護し、動きやすい服装で避難しましょう。

避難対策

・水面下には、側溝などの危険箇所があるため長い棒などをつえ代わりにし、確認しながら歩きましょう。
・単独で行動せず、2人以上で避難しましょう。

・歩行可能な水深は50センチメートル以下。但し、水の流れが速い場合は20センチメートル程度でも危険ですので深さに注意しましょう。

避難場所

【成東地域】

- ・山武市役所
- ・成東小学校
- ・大富小学校
- ・南郷小学校
- ・鳴浜小学校
- ・緑海小学校
- ・成東中学校
- ・成東東中学校
- ・成東高等学校
- ・成東老人福祉センター

【山武地域】

- ・睦岡小学校
- ・日向小学校
- ・山武北小学校
- ・山武西小学校
- ・山武中学校
- ・山武南中学校
- ・むつみのおか幼稚園
- ・日向幼稚園

【松尾地域】

- ・山武市役所松尾出張所
- ・松尾小学校
- ・大平小学校
- ・豊岡小学校
- ・松尾中学校
- ・松尾自動車教習所
- ・大平保育所
- ・まつお認定こども園

【蓮沼地域】

- ・蓮沼小学校
- ・蓮沼中央会館
- ・蓮沼保健センター
- ・蓮沼スポーツプラザ

◆1時間の雨量と災害発生状況

1時間雨量(mm)	予報用語	災害発生状況
10以上～20未満	やや強い雨	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
20以上～30未満	強い雨	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30以上～50未満	激しい雨	山崩れ・崖崩れが起きやすくなる。
50以上～80未満	非常に激しい雨	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。
80以上～	猛烈な雨	大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

※地震などの災害時避難場所とは、一部異なりますのでご注意ください。

問 総務課消防防災係

(80)
1111
6